

## 第3次越谷市地域福祉計画（素案）に対するパブリックコメントの概要

意見募集期間	令和2年(2020年)11月2日(月)～12月3日(木)
周知方法	<ul style="list-style-type: none"><li>・広報こしがや11月号への記事掲載</li><li>・市ホームページへの情報掲載</li><li>・越谷 city メールでの意見募集案件の周知</li><li>・情報公開センターでの意見募集案件の周知</li></ul>
意見提出方法	<ul style="list-style-type: none"><li>・各施設に設置した意見箱への投函</li><li>・郵送</li><li>・電子メール</li><li>・FAX</li></ul>
案冊子・意見箱設置場所	全15か所 <ul style="list-style-type: none"><li>・福祉推進課窓口</li><li>・情報公開センター</li><li>・各地区センター(13か所)</li></ul>
意見数	<ul style="list-style-type: none"><li>・意見提出者：5人 (内訳：電子メール3人、FAX2人)</li><li>・意見数：31件</li></ul>

## パブリックコメントの意見要旨と市の考え方について

A：意見（また意見の一部）を反映し、素案を修正します

B：すでに素案に示されています

C：意見を反映しません

D：素案の修正はしないが、実施段階で参考にします

E：その他

意見 No.	ページ	意見要旨	市の考え方	反映 状況
1	全体	<p>全体的に、地域福祉計画は福祉関連計画の上位計画であり、分野ごとの縦割りを越えた計画という位置づけだと思いますが、まだまだ高齢者中心の施策が多く、相談支援体制についてもそれぞれの相談事業が並列されているのみで、今後どのように縦割りを越えていくかが具体的に書かれていない気がします。どこか、別の実行計画があるのでしょうか。</p>	<p>相談支援の縦割りを超える取り組みとしては、36ページで示している「重点事業3」として、庁内を横断的につなぐ会議体を設置・運営し、複雑・多様化する地域課題に対応することを目指します。</p> <p>またご意見のとおり、本計画は福祉関連計画の上位計画として、各関連計画を横断的につなぐ計画となっています。したがって、計画に記載している主な事業は、本計画の基本理念や基本目標を推進するための主要な施策を示したものであり、各分野の詳細な記載は「障がい者計画」や「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」、「子ども・子育て支援事業計画」など、各分野別計画にて示しております。</p> <p>なお、いただいた意見を踏まえ、再度各分野の特筆すべき施策やこれまでの成果について確認を行い、上位計画として分野のバランスが取れた計画書になるよう検討を行います。</p>	B A

2	26	<p>「基本理念」について、下記のとおり加筆をお願いします。</p> <p>「すべての市民が生涯にわたり、障がいの有無や介護・支援の必要度によって分け隔てられることなく、すこやかに、いきいきと、人間らしく、安心して暮らすことができる福祉のまちを実現する」</p>	<p>基本理念は、越谷市福祉憲章を踏まえ、平成20年3月策定の「第1次越谷市地域福祉計画」から掲げており、その理念は普遍的なものであることから、第3次計画でも継承することとしています。</p> <p>また、本計画は素案7ページに記載があるように、福祉関連分野の上位計画として策定しております。本計画における「すべての市民」は、障がい者、介護が必要な方をはじめ、生活困窮者や子育て世帯など、全世代・全分野を対象としているため、特定の分野を強調して記載することはできませんが、いただいた意見を踏まえ計画を推進してまいります。</p> <p>なお、現在、令和3年度から計画期間を迎える「第5次越谷市障がい者計画」、「第8期越谷市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」などの分野別計画も同時期に策定しているため、いただいた意見については担当課と共有いたします。</p>	D
3	27	<p>「実現を目指すまちの視点」について、下記のとおり加筆をお願いします。</p> <p>①助け合い仲間が増えるまち <u>障がいのあるなしにかかわらず子どもの頃からともに育ち、ともに学ぶことにより、心のバリアフリーが生まれ、こうした児童生徒の成長により地域における共生が進展します。障がいのある人もない人も、介護・支援が必要になった人もそれ以外の人も、ともに働き、ともに暮らす共生社会を盛り立てる…</u></p> <p>②誰もが自立して暮らせるまち <u>障がいのある人もない人も、介護や支援が必要になった人もそれ以外の人も、一人ひとりが…</u></p>	<p>意見 N0.2 と同様に、特定の分野を強調して記載することはできませんが、いただいた意見を踏まえ、計画を推進してまいります。</p>	D

		<p>③お互いを思いやり支え合うまち <u>障がいのある人もない人も、介護や支援が必要になった人もそれ以外の人も、自ら積極的に社会参加し、自らの</u></p> <p>④安全で安心なまち <u>障がいのある人もない人も、介護や支援が必要になった人もそれ以外の人も、ともに生きる上でのさまざまな困りごとや災害時など、いざというときに安心して、安全が確保されるまちを…</u></p>		
4	27	<p>「越谷市の地域福祉の将来像」について、下記のとおり加筆をお願いします。</p> <p>「<u>地域の新たな支え合い～分け隔てられることなくいきいきと暮らせる福祉のまち 越谷</u>」</p>	意見 N0.2 と同様に、加筆することはできませんが、いただいた意見を踏まえ、計画を推進してまいります。	D
5	30	<p>「基本目標」について、下記のとおり加筆をお願いします。</p> <p>「1. <u>すべての市民の主体的な参画と協働による地域課題の発見・解決を推進します</u> <u>障がいのある人もない人も、介護や支援が必要になった人もそれ以外の人も、幅広い…</u></p> <p>「2. <u>社会参加と自立した生活に必要な支援を受けられるための包括的な支援体制を強化します</u> 地域で孤立している人や、必要な支援に結びついていない人を把握するとともに、生活上の困難や悩みを抱えた時に<u>地域社会に参加し自立した生活を送る上で必要な支援に…</u></p>	<p>基本目標1・3については、意見 N0.2 と同様に、特定の分野を強調して記載することはできませんが、いただいた意見を踏まえ、計画を推進してまいります。</p> <p>基本目標2については、支える側の体制に関する記載を行っている項であるため、基本目標への加筆はできませんが、自立支援に対する取り組みは重要であるため、58ページの「市で取り組むこと」に、「生活上の困難や悩みを抱えた人に対し、相談窓口で親身に相談に乗ることで、地域社会で自立した生活を送れるよう支援します」という文言を追記します。</p>	D A

		<p>「3. 課題解決の仕組みをつくっていきけるよう、障がいのあるなしにかかわらず子どもの頃からともに育ち、ともに学び、障がいのある人もない人も、介護や支援が必要になった人もそれ以外の人も、すべての人々を社会の一員として迎え入れ、誰にとっても、</p>		
6	34	<p>地区版 SOS ゲームが重点事業のようですが、どこにも所属していない一市民が体験するにはハードルが高いと思います。私の住んでいる地域では高齢のため自治会の役割を担えないという理由で退会する人も多いのが現状で、コロナもあって、知り合うきっかけがますます少なくなっています。まずは知り合うきっかけとなる取組が必要だと思います。</p> <p>そのきっかけも、地域の課題を他人ごとではなく自分事としてとらえ、福祉の支え手と受け手という関係を越えて、というならば、従来福祉の受け手と考えられがちな支援を必要な人も、支援を受けながら地域に出ていくことで知り合い、お互いが支え手となっていきけるような取組が必要だと思います。</p>	<p>ご意見のとおり、地区版福祉 SOS ゲームをどこにも所属していない市民の方が体験するのは難しいと考えております。そのため、まずは自治会や、民生委員・児童委員を母体として取り組みを始めるとともに、地域住民が知り合うきっかけを増やすために、施策 1-2-1 や施策 1-2-2 で記載のように、「地域における交流や活動の場をつくる取り組み」や「地域活動団体への参加促進と活動を支援」を推進していきます。</p> <p>また、福祉の支え手と受け手という関係を越えお互いが支え手になっていくというのは、地域共生社会の実現に向けて重要な要素だと考えております。</p> <p>いただいた意見を踏まえ、上記のような取り組みの推進と、多様な人が地域活動に参加できるような具体的な取り組みについて検討していきます。</p>	D
7	36	<p>「分野横断型の包括的な相談支援体制」「複雑な地域課題へ横断的に対応します」について</p> <p>65 歳未満で、介護保険制度の利用が優先され、器質性精神障害としての診断の上で、障害福祉制度も活用できる脳卒中の後遺症による「高次脳機能障害」の方や、「若年性認知症」の方なども、ワンストップの窓口で対応し、相談につながっていない高次脳機能障害者や若年性認知症の方を浮かびあがらせていくこ</p>	<p>本計画では、「高次脳機能障害」や「若年性認知症」のような多種多様な課題を抱えた地域住民に対し、ワンストップ窓口ではなく、各相談機関が一度相談内容を受け止めたうえで、関係課所が連携により解決することを目標とし、「分野横断型の包括的な相談支援体制」の構築を目指しています。</p> <p>多種多様な課題を対象とするため、特定の分野の事例を強調して記載することはできませんが、いただいた意見を踏まえ、計画を推進してまいります。</p>	D

		とを計画に記してください。		
8	40	<p>下記のとおり加筆をお願いします。</p> <p>「<u>基本方針1-1 一人ひとりが分け隔てられることなく、互いに尊重し合い、地域で活躍できる機会づくり</u>」</p> <p>幅広い世代の地域住民が、<u>障がいのある人もない人も地域の中で、ともに学び、ともに働き、ともに暮らし、自分たちの…</u></p> <p>またそれらを実現するために、<u>障がいに対する誤った理解や認識を今後も改善していくことなども含め、地域住民が知識を…</u></p>	意見 N0.2 と同様に、特定の分野を強調して記載することはできませんが、いただいた意見を踏まえ、計画を推進してまいります。	D
9	42	<p>下記のとおり加筆をお願いします。</p> <p>施策の方向性</p> <p>地域住民一人ひとりが地域福祉に対する理解と関心を深め、<u>障がいの有無に関わらず、地域でともに生きる『共生』の理念の理解をすすめ、障がいに対する誤った理解や認識を改善し、主体的に…</u></p> <p>●地域住民等ができること（例えば・・・）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>障がいのある人もない人も、分け隔てられることなくともに自分らしく生きている実態、たとえば地域の学校でともに学び育っている子どもたちの様子や、聴覚障がい者が手話の普及から手話奉仕員育成、手話通訳制度の充実に関わっていること、</u></li> </ul>	意見 N0.2 と同様に、特定の分野を強調して記載することはできませんが、いただいた意見を踏まえ、計画を推進してまいります。	D

		<p>重度障がい者たちが学生や地域住民にはたらきかけて介護人を募って養成し共に街で生きていること、精神障がい者が他の精神障がい者たちのピアサポーターとして働いていることなど、障がい者自身が社会資源でもあることを学びましょう。</p> <p>●市で取り組むこと</p> <p>・地域住民が、障がい者自身が社会資源でもあることを学ぶことにより、さらに地域福祉の可能性を理解できるよう研修会の充実を図ります。</p>		
10	42	<p>「地区版福祉 SOS ゲームを通じた研修会」とあるが、障害当事者が介助者と一緒に行ける研修会を行えるように市として取り組んでほしい。</p>	<p>地区版福祉 SOS ゲームを通じた研修会は、地域住民の課題解決力を高めるための取り組みとして、研修参加者は限定せず、より幅広い地域住民に取り組んでいただきたいと考えております。</p> <p>いただいた意見を踏まえ、多様な研修機会を設けられるよう取り組んでまいります。</p>	D
11	42	<p>「小中学校における福祉教育を充実させ」と記載されているが、福祉教育の中身が大事だと思う。アイマスクや車椅子体験だけでなく、実際に当事者が講師となり、暮らしの様子を話してもらうことが大事だと思う。</p>	<p>ご意見のとおり、福祉教育において、当事者から実体験を聞く機会は重要だと考えており、現在も社会福祉協議会や学校応援団に依頼を行い、障がい者や高齢者を講師に招いた研修を実施しております。</p> <p>いただいた意見を踏まえ、今後も福祉教育の内容を検討してまいります。</p>	D
12	42	<p>小中学校の福祉教育では、アイマスクや車いす体験といった体験型の福祉教育に加え、支援を受けながら暮らしている高齢者や障がい者などが講師となって自分たちの暮らしを語るような内容が必要だと思います。</p>		
13	44	<p>下記のとおり加筆をお願いします。</p> <p>・共通の悩みごとを抱えている人と交友を持ち、情報を共有しましょう。(困った時の相談相手をみつけましょう) さらに、そ</p>	<p>一緒に考え行動する機会は重要だと考えます。また、悩んでいる人自身が地域福祉の人材になりうるという考え方も、ご意見のとおりだと存じます。</p> <p>一方で悩みごとを共有するように一様をお願いすることは、個</p>	D

		<p><u>の共通の悩みごとを知らない他の地域住民に発信し、一緒に考え一緒に行動する機会を創ってゆきましょう。悩んでいる人自身が地域福祉の人材になりうるのです。</u></p>	<p>人のプライバシーの問題でもあるため、慎重に扱っていきたいと考えております。</p>	
14	44	<p>「地域で活躍する人材を増やし、育てていきます」と書いてありますが、主な取り組み（事業）では高齢者向けの事業が多いような気がします。</p> <p>わたしは、全身性障害者介護人派遣事業という制度を使っています。その制度は、自分でビラをまいたりして知り合った人に介助人になってくれないかとお願いして、介助をしてもらう制度です。介助をする人は資格も何もありません。知り合って介助をお願いしたい人は、別に福祉の専門家ではありませんが、わたしの介助を通じて障害者の暮らしを知ったりして、結果的に福祉に関わる人になってくれます。地域で活躍する人材となってくれるわけです。ぜひ、この全身性介護人派遣事業をこの主な取り組みに載せてください。</p>	<p>ご意見のとおり、全身性障害者介護人派遣事業は、事業を実施する中で、地域で活躍する人材の育成が図られていることは認識しております。本事業は、自立した生活を希望する在宅の重度の全身性障がい者に対し、外出援助等のための介護人を派遣することにより、社会参加を促進することを主な目的として行っている事業であることから、計画素案のとおりとしております。</p>	D
15	45	<p>P45の人材育成の事業には、全身性障害者介護人派遣事業を主な取組に入れてほしいと思います。この事業は、障害者自身が身近な人に介助を頼める制度で、資格は必要ありません。福祉に関心がなくても、関わることで普通の市民が障害者の介助に慣れることができます。その関係を通して、支援を受けながら暮らすことは、恥ずべきことではなく当たり前のことだと実感できるということは大事なことで、立派な人材育成の事業だと思います。</p>	<p>なお、本事業につきましては、現在策定を進めている第5次越谷市障がい者計画において掲載を予定しておりますので、当該計画に基づき、事業の推進を図ってまいります。</p>	



16	46	<p>下記のとおり加筆をお願いします。</p> <p>●すべての地域住民が住み慣れた地域で楽しく暮らし続けられるよう、障がいのある子どももいない子どもも地域でともに学び育つことにより、共生の理念が育つ環境が必要です。また障がいのある人びとが分け隔てられず、ともに働き暮らす社会は、他の人々にとっても自分らしく、安全で安心して暮らすことができる社会です。そのことを踏まえて、地域住民同士が…</p>	<p>意見 NO.2 と同様に、特定の分野を強調して記載することはできませんが、いただいた意見を踏まえ、計画を推進してまいります。</p>	D
17	48	<p>下記のとおり加筆をお願いします。</p> <p>●市で取り組むこと ・高齢者、障がい者、子育て世代など、地域の人々が気軽に集まれる、多様な交流の場や機会をつくります。そうした交流の場で、障がい者たちが地域の他の人々に働きかけて共に生きる関係や制度を創出してきた体験を、地域の人々に伝えていきます。また、要介護の高齢者も参加できるような支援体制を検討します。</p>	<p>意見 NO.2 と同様に、特定の分野を強調して記載することはできませんが、いただいた意見を踏まえ、計画を推進してまいります。</p>	D
18	50	<p>下記のとおり加筆をお願いします。</p> <p>●市で取り組むこと 障がい者たちが地域の他の人々に働きかけて共に生きる関係や制度を創出してきた体験を地域活動団体に情報提供する機会を確保し、障がい者や支援者たちが団体に参加し活動することを通じて、地域活動の活性化を図ります。</p>	<p>意見 NO.2 と同様に、特定の分野を強調して記載することはできませんが、いただいた意見を踏まえ、計画を推進してまいります。</p>	D
19	50	<p>地域における交流や活動の場で、多様な取組の場とあるにもかかわらず、それぞれの分野ごとの交流の場が列挙されています。前ページには多様な交流の場や機会をつくりませんが、すでに民間ではさまざまな人が交流できる子ども食堂のような取組もあるようなので、そういった取組を掘</p>	<p>ご意見のとおり、子ども食堂の取組みのように、さまざまな人が交流できる交流の場は重要だと考えています。</p> <p>いただいた意見を踏まえ、50 ページの「市で取り組むこと」で記載しているように、地域活動団体の活動をより一層活性化するために、その活動の情報提供の充実や、活動団体同士の横の</p>	D

		り起こすことも触れてほしいと思います。	つながりを強化できるように努めます。	
20	52	<p>下記のとおり加筆をお願いします。</p> <p>●<u>地域における困りごとや相談に対して、分野を超えて対応するとともに、多様なピアカウンセリングを促進して多様な相談者に身近な相談体制を充実し、関係機関が…</u></p>	意見 N0.2 と同様に、特定の分野を強調して記載することはできませんが、いただいた意見を踏まえ、計画を推進してまいります。	D
21	54	<p>下記のとおり加筆をお願いします。</p> <p>●市で取り組むこと ・障がい当事者団体が蓄積してきた自助（セルフヘルプ）活動、ピアサポート等を活かして、支援が必要な人がやがてピアとして他の住民をサポートする社会資源ともなりうるよう、障がい当事者団体との連携を強化します。</p>	意見 N0.2 と同様に、特定の分野を強調して記載することはできませんが、いただいた意見を踏まえ、計画を推進してまいります。	D
22	58	<p>下記のとおり加筆をお願いします。</p> <p>●市で取り組むこと <u>多様なピアカウンセリングを促進して多様な相談者に身近な相談体制を充実します。</u></p>	意見 N0.2 と同様に、特定の分野を強調して記載することはできませんが、いただいた意見を踏まえ、計画を推進してまいります。	D
23	60	<p>下記のとおり加筆をお願いします。</p> <p>●市で取り組むこと <u>障がい当事者団体と日ごろから連携を取り、また多様なピアカウンセリングの体制を整えることにより、本人の不安（支援の対象者となることにより地域から分け隔てられてしまうのでは</u></p>	意見 N0.2 と同様に、特定の分野を強調して記載することはできませんが、いただいた意見を踏まえ、計画を推進してまいります。	D

		等)に <del>応えながら支援できる体制を整え、そのことを周知しま</del> <del>す。</del>		
24	64	「越谷市内の成年後見制度利用状況」について、「認知症、統合失調症、知的障害、高次脳機能障害、遷慢性意識障害、その他」という開始原因別の利用状況を示してください。	本計画では、病気や障がいなどの制度の開始原因に関わらず、そのような状態にある方のうち判断能力が不十分な方に対して、地域の関連機関が連携・協力して権利擁護の支援をする仕組みづくりを目指しています。 なお、開始原因別利用状況について、審判を行う家庭裁判所の統計はありませんが、制度利用が必要な方の心身の状態や生活状況等を踏まえ、制度の利用促進を図ってまいります。	D
25	84	下記のとおり加筆をお願いします。  ●地域住民が安全に安心して住み続けるための「福祉のまちづくり」を推進するために、防犯・防災、公共交通、居住・就労、 <u>情報、社会参加の介助</u> など、多種多様な分野において、 <u>社会的なバリアが除去されなくてはなりません。</u>	84ページは、基本方針3-2として「福祉のまちづくり」を推進するための主なものを例示したページであり、情報提供については施策2-3-1、社会参加の促進については基本方針1-2に記載しております。 また社会的バリアの除去については、89ページで「まちのユニバーサルデザイン化の推進」として記載しております。 以上の理由から同ページへの加筆は行いませんが、いただいた意見を踏まえ、計画を推進してまいります。	D
26	86	下記のとおり加筆をお願いします。  ●市で取り組むこと 高齢者、障がい者、乳幼児、外国人など、防災対策において特に配慮を必要とする人が支援を受けられるよう、 <u>情報のバリアフリー化や、社会参加の介助制度などを整えるとともに、個々人との相談を基本として名簿作成や…</u>	情報提供、社会参加の促進については、意見N0.25と同様に他ページで記載しているため同ページの加筆はいたしません、 いただいた意見を踏まえ、計画を推進してまいります。 名簿の作成等につきましては、いただいた意見を踏まえ、慎重に事業内容を検討してまいります。	D

27	86	<p>「支援が必要な人（高齢者や障がい者等）も、自ら地域のイベントに参加したり」とあって、それは大事なことだと思います。ただ、自ら地域のイベントに参加するためには、地域のイベントが参加しやすいことも必要です。市で取り組むことの方にも、支援が必要な人も支援を受けながら参加しやすいイベントが開催できるような取り組みを入れてください。</p>		
28	86	<p>防犯・防災対策で、「支援が必要な人（高齢者や障がい者等）も、自ら地域のイベントに参加したり」とありますが、これはとてもいいと思います。ただ、地域のイベントの方が、支援が必要な人が参加しやすくなっているか疑問が残ります。どうすれば支援が必要な人が参加しやすくなるかと考えた場合、イベントの企画自体から支援が必要な人がかかわることが必要だと思います。それについても触れてほしいと思います。</p>	<p>ご意見のとおり、支援を必要とする人が地域のイベントに参加しやすいことは重要なことだと考えます。 地域の交流については86ページに限った話ではないため、48ページの「市で取り組むこと」に「交流の場の運営や、地域交流のイベントを実施する際には、支援が必要な人（高齢者や障がい者等）が参加しやすいよう、当事者に意見を聴取するなどの工夫を行います」という文言を追記します。</p>	A
29	86	<p>支援が必要な人も、自ら地域のイベントに参加したりとあるが、それなら市で取り組むことの方でも支援が必要な人も参加しやすいイベントが開かれることも必要だと思う。</p>		
30	88	<p>下記のとおり加筆をお願いします。</p> <p>施策の方向性 公共施設のユニバーサルデザイン化や、利便性が高く持続可能な公共交通網の形成と併せて、<u>情報のバリアフリー化や、社会参加の介助制度などを整え、より生活しやすい環境づくりを推進します。</u></p> <p>市で取り組むこと 高齢者や障がい者など、<u>必要とする情報が必要とする時に得ら</u></p>	<p>情報提供、社会参加の促進については、意見 N0.25 と同様に他ページで記載しているため同ページの加筆はいたしません、いただいた意見を踏まえ、計画を推進してまいります。</p>	D

		れない人に対しての情報のバリアフリー化や社会参加のための 外出が困難な人に		
31	90	<p>下記のとおり加筆をお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者・障がい者・子育て世帯など、住宅の確保が難しい人（住宅確保要配慮者）が地域で安心して暮らせるよう、円滑に入居できるための登録制度（住宅確保要配慮者向けセーフティネット住宅の登録）を運用するとともに、<u>公営住宅への入居を支援</u>します。</li> <li>・ 高齢者や障がい者の方向けに、<u>通勤や就労時の介助保障を含め、多様な形で</u>の就労機会を支援します。</li> </ul>	<p>公営住宅については、入居の資格において、高齢者や障がい者等が入居する場合の所得制限を緩和するなどの要件を設けているため、引き続き適切な制度運用に努めてまいります。</p> <p>通勤時や就労時の介助保障については、本計画上で、新たな具体的な制度について加筆することはできませんが、引き続き国の動向を踏まえ、検討してまいります。</p>	D